

2009年7月30日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 W O W O W
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 和 崎 信 哉
(コード番号 4839 東証マザーズ)

平成 22 年 3 月 期 (2009 年 度) 第 1 四 半 期 決 算 の お 知 ら せ

平成 22 年 3 月 期 (2009 年 度) 第 1 四 半 期 決 算 (平 成 21 年 4 月 1 日 ~ 平 成 21 年 6 月 30 日) に つ き ま し て、
別 紙 の 通 り お 知 ら せ い た し ま す。

【問合せ先】 (マスコミ関係) 広報部 TEL03(4330)8080
(IR関係) IR 経 理 部 TEL03(4330)8089

平成 22 年 3 月期（2009 年度）第 1 四半期決算に関するご説明

① 加入状況

当第 1 四半期は、No. 1 プレミアム・ペイチャンネルの地位を確固たるものにするため、オリジナルコンテンツを強化し、話題性がある質の高い番組をお届けしました。

オリジナルドラマ製作プロジェクト「ドラマW」では、連続ドラマW「空飛ぶタイヤ」を放送し、視聴者から多くの好評を得ました。また、大ヒットを記録した「花より男子ファイナル」、「レッドクリフ Part I」などのメガヒット映画や、「全仏オープンテニス」、「ウィンブルドンテニス」などの番組を放送しました。

その結果、当第 1 四半期の新規加入件数は、177,129 件（前年同期比 1.7%減、内 BS デジタル 159,157 件）、解約件数は 184,580 件（同 21.5%増、内 BS デジタル 129,832 件）となり、新規加入件数から解約件数を差し引きました正味加入件数は 7,451 件の減少（前年同期に比べ 35,627 件の減少）となりました。当第 1 四半期の累計正味加入件数は 2,468,526 件（同 0.1%増、内 BS デジタル 1,793,308 件）となりました。また、平成 20（2008）年 4 月 1 日から制度化したデジタルダブル契約（注 1）は、当第 1 四半期末時点において 139,997 件（前年同期に比べ 62,987 件の増加）となっております。

② 収支状況（連結）

当第 1 四半期における収支の状況は、累計正味加入件数の増加及びデジタル加入件数の増加により有料放送収入は増加しましたが、テレマーケティング関連における、受注の減少等に伴うその他収入の減少により、売上高は 162 億 17 百万円と前年同期に比べ 2 億 38 百万円（1.4%）の減収となりました。しかし、当第 1 四半期は前年同期にあった「UEFA EURO2008TM サッカー欧州選手権」等のビッグイベントが無かったことにより番組費及び広告宣伝費等が大幅に減少し、営業利益は、27 億 90 百万円と前年同期に比べ 30 億 22 百万円の増益となり、また、経常利益は、28 億 15 百万円と前年同期に比べ 30 億 56 百万円の増益となりました。四半期純利益は、法人税等 6 億 11 百万円等を計上しましたが、22 億 52 百万円と前年同期に比べ 26 億 93 百万円の増益となりました。

③ 平成 22 年 3 月期（2009 年度）通期業績予想（連結）

平成 22（2010）年度 3 月期の連結業績見通しにつきましては、売上高 663 億円（前期比 0.9%減）、営業利益 47 億円（同 17.0%増）、経常利益 47 億円（同 8.1%増）、当期純利益 27 億円（同 11.5%減）を見込んでおります。また、正味累計加入件数は 1 万件の増加（内、デジタルダブル契約 3 万件）、期末累計正味加入件数は 248 万 6 千件（前期比 0.4%増、内デジタルダブル契約 15 万件）を見込んでおります。

4 年連続加入件数純増に向け、7 月以降は連続ドラマW第 4 弾「ママは昔パパだった」やドラマWの最新作をお届けするほか、第 81 回アカデミー賞 外国語映画賞受賞作品「おくりびと」などを放送します。また、新たな取り組みとして 10 月 10 日に、より多くの方がWOWOWの魅力を感じることができるイベント「WOW FES！」を渋谷エリア一帯で開催します。

そして、平成 23（2011）年 10 月 1 日からのフルハイビジョンによる 3 チャンネルサービス開始に向けて、より一層のコンテンツ強化を行うほか、IPTV（注 2）など新しい伝送路でのサービスの準備を具体的に推し進めていきます。

(注1) デジタルダブル契約は、「同一契約者による2つ目のデジタル契約」のことで、割引料金を適用（月額2,300円の視聴料金を900円に割引）*金額は税抜き

(注2) IPTVとは「Internet Protocol Television」の略で、インターネット技術を利用して、テレビ放送、映像コンテンツ配信などを行うサービスです。通信速度を保障する機能があるネットワークでは、特定のユーザーに通常の放送と同等の品質を保証したサービスを提供することができます

当資料に記載の業績見通しは、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社及び当社グループ会社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向などが含まれております。ただし、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

平成 22 年 3 月期 (2009 年度) 第 1 四半期決算概況表

2009 年 7 月 30 日
株式会社WOWOW

1. 加入状況

(単位：件)

項 目	平成 22 年 3 月期(2009 年度)第 1 四半期			平成 22 年 3 月期(2009 年度)予想	
	実 績	前年同期実績	対前年同期 増減率	予 想 (千件)	対前期 増減率
新規加入件数	177,129	180,148	△1.7%	580	△12.7%
解約件数	184,580	151,972	21.5%	570	△9.0%
正味加入件数 (内、デジタルダブル)	△7,451 (15,684)	28,176	—	10 (30)	△73.8%
累計正味加入件数	2,468,526	2,465,940	0.1%	2,486	0.4%
アナログ	675,218	950,673	△29.0%	489	△34.0%
デジタル (内、デジタルダブル)	1,793,308 (139,997)	1,515,267	18.3%	1,997 (150)	15.1%

*デジタルダブルは「同一契約者による 2 つ目のデジタル契約」のことで、割引料金を適用 (月額 2,300 円⇒900 円 [税抜き])

2. 収支状況 (連結)

(単位：百万円)

項 目	平成 22 年 3 月期(2009 年度)第 1 四半期				平成 22 年 3 月期(2009 年度)予想		
	実 績	収入比	前年同期実績	対前年同期 増減率	予 想	収入比	対前期 増減率
売 上 高	16,217	100.0%	16,456	△1.4%	66,300	100.0%	△0.9%
営 業 利 益	2,790	17.2%	△232	—	4,700	7.1%	17.0%
経 常 利 益	2,815	17.4%	△241	—	4,700	7.1%	8.1%
四半期(当期)純利益	2,252	13.9%	△440	—	2,700	4.1%	△11.5%

※百万円未満を切り捨てております。